

## 「阿賀野川え～とこだプロジェクト」をご存知ですか？

※正式名は「阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業」、通称「FM 事業」です。

FM 事業とは、かつて阿賀野川流域で発生した「新潟水俣病」や地域の問題をもう一度見つめ直し、きちんと踏まえた上で、流域を今まで以上に「え～とこだ！」と誇れる場所にするため、流域住民と行政が協働して流域全体の地域づくりを目指すプロジェクトです。



H19 みなまた環境大学

### ★「もやい直し」… もう一つの公害発生地・水俣市の取組み

- 水俣市は、水俣病の発生により、地域社会の中で激しい差別が起きて人々の絆が壊れると同時に、地域経済も疲弊。
- そこで、水俣市は平成 2 年から地域社会を再生・融和する「もやい直し」と呼ばれる取組を、住民と協働して開始。
- 「市全域の車座集会」、「環境モデル都市づくり」、「地域を見つめ直す地元学」。
- 現水俣市は、水俣病の <sup>マイナス</sup> 負イメージを正に <sup>プラス</sup> 転換した環境先進地として有名に。

## FM事業の中で、新潟県が目指す「もやい直し」とは？

### その1 《「人」と「人」(患者と住民、住民同士など)との間の「もやい直し」》

- 患者さんへの偏見、新潟水俣病と向き合えない事情
- 人々の交流や、地域社会の絆・活力も弱まる…

人との絆を大切にし、  
安心して暮らせる地域へ

### 《「人」と「自然」(阿賀野川と住民など)との間の「もやい直し」》

### その2

公害の教訓を活かし、  
環境を大切にす地域へ

- 新潟水俣病の経験と教訓の風化が、急速に進む
- 阿賀野川流域の自然と住民との触れ合いも少ない…

「地域を見つめ直す」「地域の人や資源に目を向ける」「地域をつなげる」視点で、事業を展開…裏面へ

## 阿賀野川え～とこだプロジェクト…これまでの取組、これからの取組

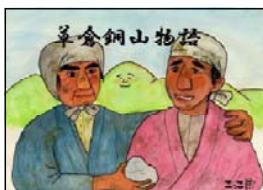
**H20年度**

地域の光と影を見つめ、いかに地域と協働可能か模索しました。



●草倉談義

現地を訪れ、草倉銅山の活用を地元と討議した。



●紙芝居

地元の若者が「草倉銅山物語」作り上げた。



●地域再発見講座

地元住民と共に阿賀野川の歴史を学んだ。



●定期情報誌

「阿賀野川え～とこだより」創刊準備号を発行した。



●ブログ

● 事業を進める上で大切にしたい姿勢

FM事業を進める際には…



■何を伝えたいか？

新潟水俣病の教訓も伝えたい！  
流域の素晴らしさも伝えたい！

■どのようにして伝えたいか？

多角的な視点で伝えたい…！  
物事の両側面を伝えたい…！

…を伝える姿勢を大切にします

**H21年度**

地域と共に、阿賀野川流域が舞台のプロジェクトを展開します！

※下記事業のほか、「地域再発見講座」「ごっつお」「映像記録」「資料整備」などがあります。

阿賀野川流域を舞台に  
環境を学習し、地域を体験する！

(環境学習プログラム体系づくり事業)

- 阿賀野川流域全体を、特色豊かな環境学習の舞台とします。
- 流域の訪問者が学び体験できる環境学習プログラムです。
- 新潟水俣病の教訓を中心に、流域の素晴らしさも伝えます。
- 今年度は流域の専門家と共に、理念づくりから着手します。

- 今年度は上流を舞台に、「草倉銅山」の光と影を見つめます。
- 9月～10月にかけて、パネル展&ツアーを地元で開催。
- 来年は、新潟水俣病の光と影を見つめ、教訓を学びます。
- 今後、光と影を持つ地域資源に着目し、中流・下流へ展開。

地域(資源)の光と影を  
地域と共に見つめ直す！

(H21 草倉銅山パネル展&ツアー事業)

情報発信

(紙芝居第2弾作成)

(「阿賀野川え～とこだより」年3回発行)

(「阿賀野川え～とこだ！ブログ」運営)



- 流域各地で炉端談義を開催！
- 目的：FM事業を知ってもらう
- これを機に関わって頂ければ…

ロバガン！

人をつなぐ